

## 「サンゴの骨格染めをしよう！」学習指導案

### ■活動の目的

- ・サンゴの骨格を拾ったり、染めたりすることで、サンゴの形の違いに気づく。
- ・サンゴにはさまざまな種類があることに気づき、生物多様性の大切さを学ぶ。
- ・造礁サンゴの生態を学ぶ。
- ・創作意欲を高め、想像力を伸ばす。

### ■用意するもの

- ・教材「紙芝居」＝「サンゴ礁はみんなのたからもの！」
- ・サンゴの骨格（生きているサンゴの採取は禁止）
- ・無地のハンカチ、Tシャツ（白か淡い色のもの）
- ・布用の絵具（ぺんてる「布描きえのぐ」など）
- ・パレット
- ・角スポンジ（切って使う）、はさみ
- ・新聞紙



### ■活動の展開

おもな活動内容	活動内容	注意点
導入	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 指導者の自己紹介</li> <li>2. ガイダンス                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・やることの内容、流れを説明する。</li> </ul> </li> <li>3. 事前アンケート                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・海やサンゴ礁への興味関心、好きか、大切だと思えるかなど、アンケートをとる。</li> </ul> </li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事後アンケートと比較し、学習の効果を測定する。</li> </ul>
サンゴの骨格を拾う	サンゴの骨格を拾う <ul style="list-style-type: none"> <li>・近くの浜で、サンゴを拾う。いろいろな種類があることに気づかせる。好きな形を数種類選んでもらう。</li> <li>・砂をよく落として持ち帰る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間や場所の制限によりサンゴの骨格を拾えない場合は、事前にさまざまな種類と大きさのものを用意。</li> </ul>
布を染める	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 染め方の説明をする                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・染め方の手順やコツを説明する。</li> </ul> </li> <li>2. 絵具をパレットに出す                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・使う色を選び、チューブからパレットに絞り出す。</li> </ul> </li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明しながら実際に染めて見せるとわかりやすい。</li> <li>・絵具は水で薄めず、そのまま使うのがポイント。</li> </ul>

体験学習プログラム指導案：サンゴ礁

	<p>3. 布のどこを染めるか決める</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ハンカチやTシャツのどの部分をどのサンゴで染めるか、デザインを決める。</li> </ul> <p>4. サンゴを布でくるむ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>布の染めたい部分でサンゴをくるむ</li> </ul> <p>5. スポンジで染める</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>角スポンジを小さく切って、絵具をなじませる。サンゴをくるんだ布をスポンジで軽くこするようにして、サンゴの模様を浮き立たせ、染める。</li> </ul> <p>6. 染め広げる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>絵具の乾き具合をみながら、別の色で染め足すなど、バリエーションをつける。サンゴの成長のように、楽しみながらゆっくり染める部分を広げる。</li> </ul>	
サンゴについて学ぶ	造礁サンゴについて学ぶ	
まとめ	<p>事後アンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習の前と後で、児童生徒にどのような変化があったか評価する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>質問項目は、事前アンケートと同じ内容にする。</li> </ul>

作成：中野義勝（琉球大学 熱帯生物圏研究センター 瀬底研究施設 技術専門職員）